

「丸い中庭の家」

玉を割る設計・割らない設計

住宅というものは予算や敷地という枠がある都合上、建てられる規模がはじめに大体決まってしまうものですが、この与えられた資源をいかに有効に活用し、より豊かに見せることが出来るかは建築家の腕の見せ所になります。

このような資源の活用の仕方は一つではなく、おおまかに言うと二つの相反する方向があると私は考えています。個人的な用語で言うと「玉を割る設計」と「割らない設計」ということになるのですが、この比喩を理解するには、宝石として研磨されるべき原石があり、かつ研磨された最終成果物に対して何らかの要望がある状態を想像してもらおうと分かりやすいかも知れません。ここでは原石とは住宅のために与えられた規模や予算を指し、宝石とは最終的に得られる空間を指すと言ったことが出来ます。

原石の大きさや形は状況に応じない中庭に期待されていることは明らかです。さらに採光・通風といった機能だけでなく、意匠的にもシンボルとしても、あるいは生活の豊かさを引き出すポイントとしても中庭の持つ意味合いは非常に大きいと言えます。中庭は空間的にこの家の中心であると同時に設計上の中心課題でもあり、説得力と求心力のある形が必要になると考えました。これらの条件を吟味した結果得られたのが「丸い中庭」という解答です。

丸い中庭と「山手線方式」

丸い形、つまり円が強い求心力を持つことについて説明は不要でしょう。ここでは特に、仕切りのない空間の中心に位置する事で空間をおだやかに分割しており、周囲の居室の性質を作る役割もこの円形が担っていると言えます。丸くぽっかりと空けられた穴から降り注ぐ光や切り取られた青空のインパクトも大きく、意匠的に強い影響力を持つ事は言うまでもありません。

さらに意味を持っているのは、円という平面形が建具の完全な引込みに適しているという点です。外壁が閉鎖的な分、中庭が開放感をつくり出す必要があると書きましたが、実際には住まいとしての実用的な必要上、中庭の周囲には当然建具が入ることになります。ここではレールに

てまちまちですが、必ず玉石にならない不純物や一定でない内部組成を含んでいます。二つの方法とはこれをどのよう処理して最終成果物にするかの考え方であり、「玉を割る設計」とは原石を細かく割って不純物を取り除き、小さく分割された純粋な部分を取り出す方法、「玉を割らない設計」とは原石をなるべく大きく生かして、純粋さよりも玉の大きさや個性を生かす方法だと言った事が出来ます。

れに越した事はないのですが、分割を嫌って無理に不純物を残しても宝石全体の価値を上げる事にはつながりません。内部組成が一定しない原石であれば、深く分割してそれぞれを小さくとも完全な宝石とした方が良い場合も多くあります。結局のところ、この二つはどちらかを全面的に採用すればいいというものではなく、設計者は状況に応じてこの二つの間を行き来しているのが現実だと言えます。

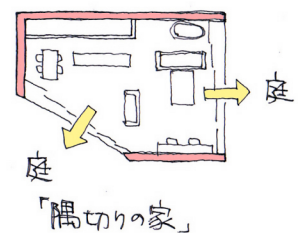
ただ、割る必要のない大きく使える原石に対して、建築家が素材として魅力を感じるというのやはり確かです。今回は比較的珍しい、「玉を殆ど割る必要のないケース」向けに考えた「丸い中庭の家」をご紹介します。

一人のための中庭式住宅
この住宅のクライアントは年配の女性で、以前から中庭のある家に一人暮らししたいと考えていたそうです。その要望はシンプルで、「自分を大きくとるため、平屋にして欲しい」「近隣からは遮断された構成にして欲しい」というものでした。玉の比喩でも分かる通り、個室分割が求められない一人のためだけの住宅というテーマは非常に興味深いものがあります。また、平屋は建物自身が低くなるので中庭の採光を妨げず中庭式の相性が良い上、階ごとに

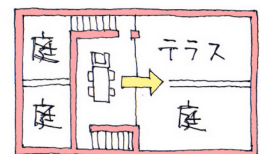
空間が分割されない為、一つの空間を大きく使う設計に適しています。敷地も中庭を包含しやすい形状をしており、玉を割らずに済む条件がよく揃った設計依頼でした。

ここで問題になるのは「近隣から遮断された構成」です。隣地に対してガードを強く作ること自体難しいことではありませんが、それだけでは単に閉鎖的な家となってしまうかれません。何らかの方法で外壁の閉鎖性を補う開放感をつくり出す必要があり、その役割が隣地に接し

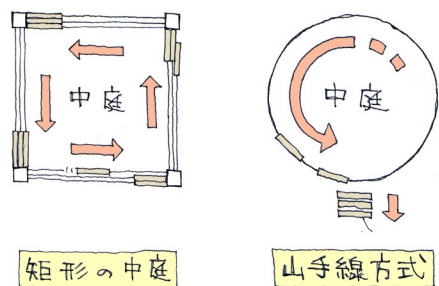
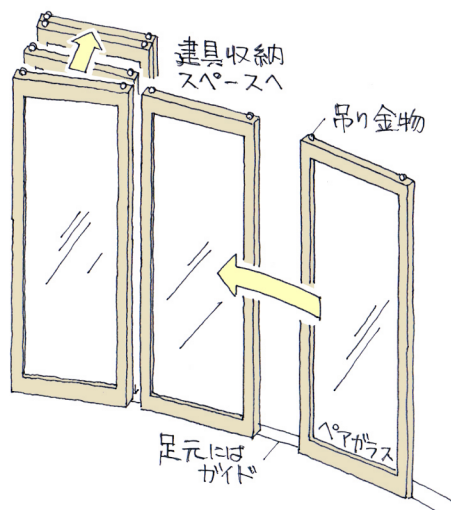
玉を割らないタイプ
(例：手塚貴晴+由比)



玉を割るタイプ
(例：安藤忠雄)

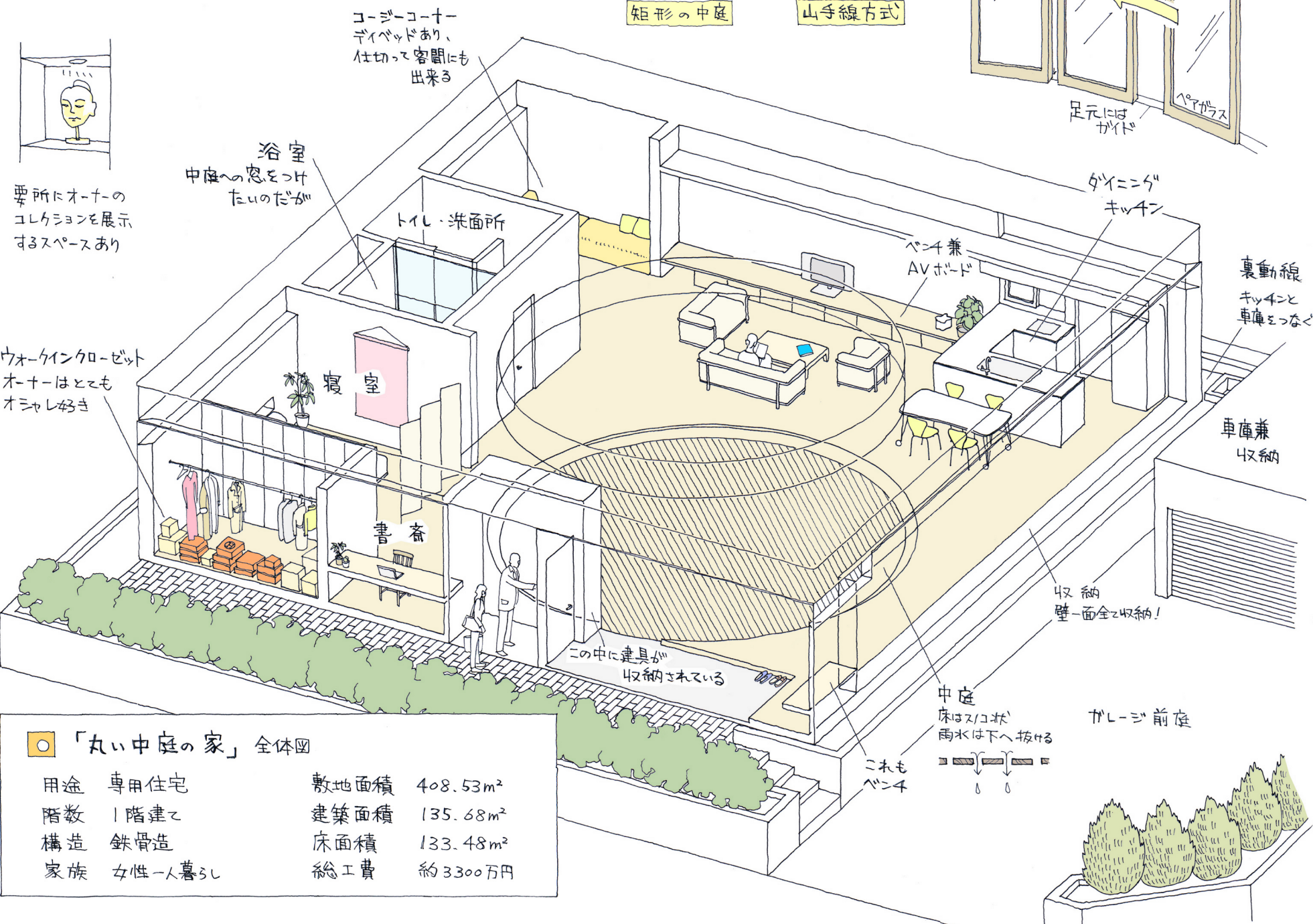


「能見邸」



DATA

屋内仕上げ	屋外仕上げ
床：バーナ無垢材フローリング	中庭デッキ：レッドシダー
壁：石膏ボード 寒冷紗	外壁：モルタルな宮 リシン塗装
天井：同上	屋根：FRP防水



「丸い中庭の家」全体図

用途	専用住宅	敷地面積	408.53m ²
階数	1階建て	建築面積	135.68m ²
構造	鉄骨造	床面積	133.48m ²
家族	女性一人暮らし	総工費	約3300万円